

# 政治学科

2010

整理番号	科目名	学期	配当年次・単位	担当教員
104	政治学演習α(伊東孝之)	通年	3年以上：4単位	伊東 孝之 政政・経演・国演

## 副題

民主主義と独裁の間で

## 講義概要

われわれは民主主義のもとで生きているので、いかにして民主主義が成立するのかを忘れてがちである。実はつい35年ほど前まで地球人口の5分の4が独裁体制下にあった。今日なお半分が独裁体制下にある。演習においては、まず非民主主義体制とは何かを考え、それはどのようにして民主化するのか、このまま民主主義が定着するのか、それとも揺れ戻しがあるのか。まだ民主化していない国々はどうなるのか、われわれはどうすればよいのか、われわれ自身の民主主義を深化する必要があるのか、などという問題を考えてい。先進国というよりも後進国、とくに発展途上国、旧社会主義国の問題に関心をもつ諸君を歓迎する。やる気のある人、英語力に自信のある人、仲間や教員と議論したい人が望ましい。

## シラバス (授業計画)

- 第1回：導入
- 第2回：ダール1970(1)
- 第3回：ダール1970(2)
- 第4回：ダール1970(3)
- 第5回：ゼミ論中間発表1
- 第6回：ダール(4)、オドンネル・シュミッター1986(1)
- 第7回：オドンネル・シュミッター1986(2)
- 第8回：オドンネル・シュミッター1986(3)
- 第9回：ゼミ論中間発表2
- 第10回：オドンネル・シュミッター1986(4)
- 第11回：ハンチントン(1)
- 第12回：ハンチントン(2)
- 第13回：ゼミ論中間発表3
- 第14回：ハンチントン(3)
- 第15回：まとめ・評価・他
- 第16回：Stepan 2000
- 第17回：ゼミ論中間発表4
- 第18回：Rustow 1970
- 第19回：Rose & Shin 2001
- 第20回：ゼミ論中間発表5
- 第21回：Geddes 1999
- 第22回：Dahl 1999a, Dahl 1999b
- 第23回：ゼミ論中間発表6
- 第24回：Przeworski & Limongi 1997
- 第25回：Przeworski 1986
- 第26回：ゼミ論中間発表7
- 第27回：Linz 1998
- 第28回：Fearon & Laitin 2003
- 第29回：ゼミ論中間発表8
- 第30回：まとめ・評価・他

## 教科書

教科書はない。

## 参考文献

さしあたりサミュエル・P・ハンチントン著、藪野祐三・中道寿一・坪郷實訳『第三の波』三嶺書房1995年、J・J・リンツ、A・ステパン著、荒井祐介・五十嵐誠一・上田太郎訳『民主化の理論。民主主義への移行と定義の課題』一藝社2005年。なお、参考文献を読了していることが受講の条件ではない。自分が関心をもてる国を見出し、関係文献を自主的に広く読むことが肝要である。

## 評価方法

ふだんの授業態度と提出されたゼミ論に基づいて行う。

## 関連URL

<http://www.f.waseda.jp/tito/>, <http://www.waseda.jp/sem-tito/>,  
<http://homepage3.nifty.com/tito/>

## 備考

講義：2009年度伊東孝之『比較政治学A・B』あるいは2010年度久保慶一『比較政治学A・B』を2010年度後期までに履修すること。困難な場合は2011年度(再び伊東担当)でもよい

が、履修しなかった場合は演習の単位が取り消しとなるので注意。  
電子メールで問い合わせ可能：tito@waseda.jp